



申3号

「2026年3月ダイヤ改正及び浦和統括センター乗務ユニットの融合について」
の申し入れ

【 : 組合、 : 会社】

2月12日開催 交渉要旨その5

《浦和統括センター・北オフィス》

1. 乗務員室内にある車掌用のタブレット置き台と行路差しは使用環境の変化と傷害事故ならびに運転台の設備破損防止の観点から撤去し、業務用タブレットが充電できる環境を整備すること。

(回答) 設備の整備については、必要に応じて関係機関に要請していく考えである。

● 現行のタブレット置きでは使用できない！

● 多言語機能は？

● 規程類含め必要なもの。本来であればタブレットの仕様変更時に用意すべきものだ！

● 改修予定はない。ケーブル1つ替えるにしても車両との相性確認が必要になる。

● マイクに近づけてやるしかない。

● 業務に必要なものは交換するなりしていきたい。

2. 大宮～蒲田間、及び蒲田～磯子間の最終列車を担当することになった経緯を明らかにすること。また、必要な指導は責任を持って行うこと。

(回答) 行路の設定については、乗務割交番作成規程に基づいて行っているところである。

● 浦和で初めて担当することになるが理由は？

● 安心して乗務するための教育を求める！

● 宿泊地含め、2～3年毎に持ち替えている。技量維持のためである。

● 現場と相談していく。

3. クロスに記入している泊地を分かりやすくすること。

(回答) 「クロス」における宿泊地の表記は、輸送総合システムの仕様によるものである。

● システムの仕様は変えられないのか？

● 変えられない。クロスはダイヤ改正作業や提案時くらいしか使わない。優先度は低い。

業務用タブレットの仕様変更に対して必要となる設備の整備が追いついていない。乗務員室内のさまざまな機器が後付けで設置される弊害で、従来からある機器類と干渉してしまったりする等、仕事がしづらくなっている側面があることから改善を求めていく！